

千本桜スポーツパークを活用したWell-Beingなまちづくりプロジェクト



<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

<目標内容>

スポーツ振興を町長部局に移管し町民の誰もがウォーキング・サイクリング・パークゴルフなどのスポーツを楽しむことに加え、日常での様々な身体の活動をスポーツと捉え“楽しみながら健康づくりができるまち”、“ここらもからだもHappyになれる”、“元気でポジティブなイメージ”を発信できるまちを実現し交流人口・関係人口の拡大につなげる。

・河川敷アクティブスポーツ施設利用者数〔R5〕5,000人 → 〔R7〕12,000人 ・歩いて健幸事業登録者〔R5〕800人 → 〔R7〕1,200人

<PRポイント>

楽しみながらの健康づくり

【おおがわら千本桜スポーツパーク】…河川敷にマウンテンバイクコース、ドッグラン、パークゴルフ場などの施設整備・堤防天端にウォーキング・サイクリングロード（おおがわら桜ライン）として整備

【第1期スポーツ推進計画】…日常生活における意識的に継続して行う身体活動をスポーツとして捉え楽しい健康づくりの実現

新たな賑わいの創出

【千本桜を千年先に】…河川敷堤内地約3,000㎡に白石川堤一目千本桜の新たな賑わいと観光を施設整備

<概要> 計画期間：～令和8年3月31日

<現状・課題> ～健康意識が高く、子供の学力も高い、便利で住みよいCompact Town～

- ・白石川堤一目千本桜（日本さくら名所百選：祭り時20万人来客/年間）だが、通年での観光資源、魅力づくりが求められている
- ・特定健診者（40歳～74歳まで）の健康診断受診率の低下、メタボ結果での悪化

<総合的な取組内容>

千本桜スポーツパークを活用したWell-Beingなまちづくり

- スポーツ振興を町長部局に移管
新たな「(仮称)スポーツまちづくり推進課」として、スポーツによるWell-Beingなまちづくりを推進する
- スポーツをまちづくりの必須アイテムとして活用
千本桜スポーツパークとサイクリング・ウォーキングロード（おおがわら桜ライン）を活用して、健康づくり・人づくり・地域づくり・広域的連携を図る
- 歩くことの継続を支援する「歩いて健幸事業」
システム専用の歩数計で、歩数にポイントをつけ、ウォーキング情報や歩数ポイントで地場産品が当選



千本桜スポーツパーク 完成イメージ

■ スポーツと観光の連携

新たな観光スポット&アクティビティが楽しめる空間を整備
(令和7年度完成予定)



健康づくり
「ノルディックウォーキング教室」



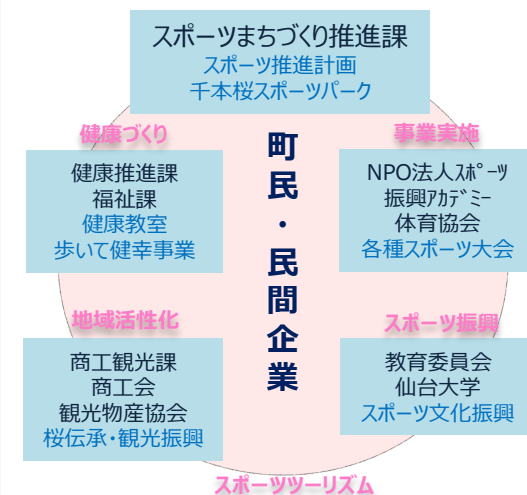
地域づくり・広域連携
「仙南サイクルツーリズム事業」



人づくり
「マウンテンバイク体験教室」

【フォローアップ欄】令和5年度以降における計画の進捗状況

<継続的な取組を確保できる体制(図)>



※行政・民間・関係団体が一体となり、誰もがスポーツに親しめる環境を構築

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：教育委員会生涯学習課
- 地方スポーツ推進計画：大河原町教育振興計画
- 地方版総合戦略：大河原町まち・ひと・しごと創生推進計画
- 地域スポーツコミッション：無 ● その他：

【問合せ先・電話番号】 0224-53-2758

宮城県大河原町教育委員会

生涯学習課 スポーツ推進係

プロスポーツチームと連携した「スポーツシティ かさま」の推進

<目標分野> ※該当するものに全て

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病予予防
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

<目標内容>

東京2020大会を契機に、トップスポーツと地域・学校との連携・協働の推進、障がい者スポーツの啓発と理解を促進するとともに、生活習慣病予防や重症化予防のため、市民の運動習慣の定着を図る。

<PRポイント>

- ① **子どもたちにプロスポーツを身近に体感してもらう**仕組みづくり（運動機会の提供と能力向上）
- ② **車いすソフトボール大会の継続開催、パラスポーツ体験会の開催によるパラスポーツの普及啓発**
- ③ **株式会社茨城県民球団と廃校の利活用について協定を締結し、「健康スポーツ」「地域福祉」「レジャー」の3つを柱とした複合施設を整備。**幅広い世代が集う地域コミュニティの拠点とし、健康長寿社会の実現を目指す。

<概要> 計画期間：～令和9年3月31日

<現状・課題>

- ① スポーツが得意な子どもだけでなく、スポーツに関心のない子どもがスポーツに取り組むきっかけが必要。
- ② 本年、県内初の車いすソフトボール大会を開催したが、今後もパラスポーツの更なる普及促進・認知度向上が必要。
- ③ 市民の運動習慣化促進、健康寿命の延伸を図るため、幅広い世代が集うコミュニティ拠点が必要。

<総合的な取組内容> プロスポーツチーム等との交流を促し、誰もが身近にスポーツを親しめる環境づくりを推進！

- ① 市内小中学校等で定期的なスポーツ教室開催
- ② 車いすソフトボール大会を継続開催
パラスポーツ体験会の定期的な開催



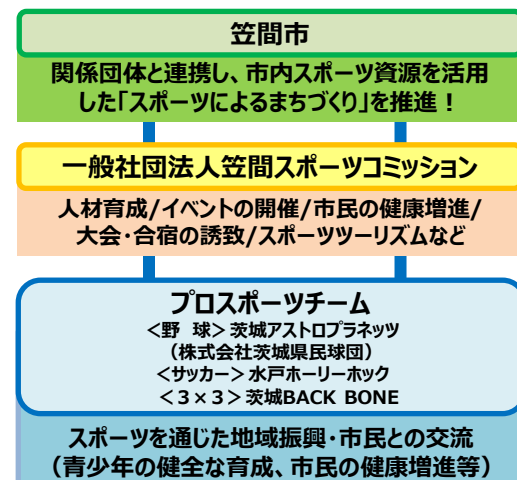
- ③ 廃校を利活用した「ウェルネスコミュニティプラザ」を開業（予定）
※施設機能は計画中であり、変更する場合がございます。



株式会社茨城県民球団と
廃校の利活用に関する協定を締結



<継続的な取組を確保できる体制（図）>



「スポーツシティ かさま」

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：笠間市教育委員会 教育部 生涯学習課 スポーツ振興室
- 地方スポーツ推進計画：笠間市スポーツ推進計画
- 地方版総合戦略：笠間市ひと・まち・もの創生推進計画
- 地域スポーツコミッション：一般社団法人笠間スポーツコミッション
- その他

【問合せ先・電話番号】

茨城県 笠間市教育委員会 教育部 生涯学習課
スポーツ振興室 TEL: 0296-77-1101



<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

<目標内容>

医療資源が不足する地域であったとしても、全ての市民が「楽しい・面白い・好き」をきっかけとしてスポーツに取り組み、「市民自らの意志と行動」により健康な状態を維持できる、そんな「鹿嶋市」を目指します。
【具体的目標(2026年度末)】①特定検診受診率の向上 60.0%/年（健康に向けた市民の「意識」を変える）
②市立スポーツ施設利用者数 40万人/年（健康に向けた市民の「行動」を変える）

<PRポイント>

【誰ひとり取り残さないヘルスケア事業】

- ① 医療データの解析や生活習慣病発症リスクの低減に知見のある民間事業者との**公民連携**で、**地域課題に取り組む**
- ② 一人ひとりの生活習慣病発症リスクに沿った運動プログラムに取り組んでもらい、病気になるリスクを減らして**みんなで健康になる！**
- ③ 「スポーツの楽しさ」をきっかけに、地域のコミュニティを形成
⇒心身の健康に資する事業と比べて手薄になりがちな**社会との繋がりを確保し、Well-being**（心身の健康＋社会的な満足）を実現！

<継続的な取組を確保できる体制（図）>



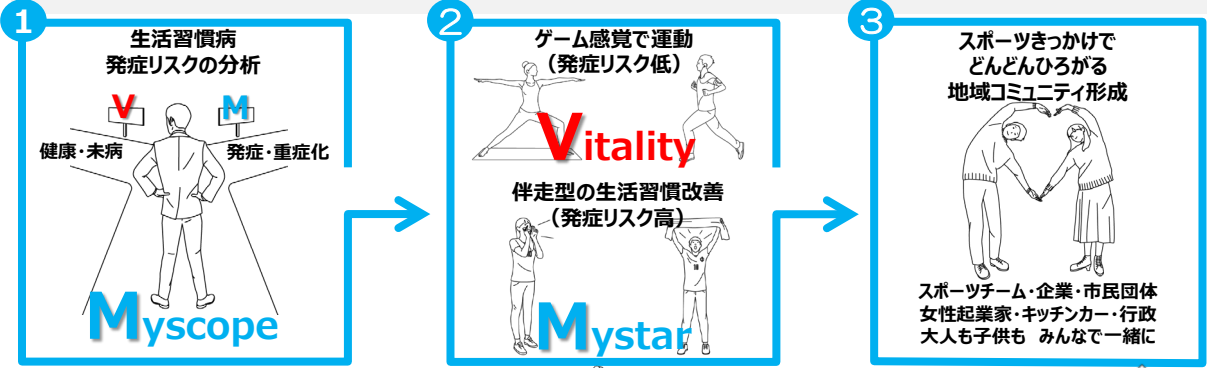
<概要> 計画期間：～令和9年3月31日

<総合的な取組内容>

【現状】
・医師少数県のなかの**医師少数区域**
・コロナ禍の生活変化による**生活習慣病リスク増大**

MVMヘルスケア事業とは…

市民ひとり一人の、5年後の生活習慣病発症リスクを分析「Myscope」
→リスクの低い人は、ゲーム感覚で運動するなど、健康維持増進プログラムに取り組む「Vitality」
→リスクの高い人は、伴走型の生活習慣改善プログラムに取り組む「Mystar」
⇒市民共創で取り組む「みんなのスポーツフェスタ in KASHIMA」（みんスポ）と一体的に推進。
運動やスポーツをきっかけにコミュニティ形成を進めます。



【課題】
医療資源が不足していても**安心して暮らせる地域の実現**



- ・自分でコントロールできる健康の実現
- ・Well-beingの実現
- ・医療資源不足地域への横展開
- ・スポーツによる地域社会の福祉向上

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先:教育委員会スポーツ推進課
- 地方スポーツ推進計画:
第3次鹿嶋市スポーツ推進計画
- 地方版総合戦略:
鹿嶋市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2022年度版)
- 総合型地域スポーツクラブ:かしまスポーツクラブ

【問合せ先・電話番号】

鹿嶋市政策企画部政策秘書課
0299-82-2911

【フォローアップ欄】令和5年度以降における計画の進捗状況

子育て世代等も楽しめるサーフィンを活用したまちづくり ～ホルル市と姉妹都市の海のない町の挑戦！～

<目標分野> ※該当するものに全て印

- ☑ ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ☑ ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ☑ ③ 自然と体を動かしてしま「楽しいまち」への転換

<目標内容>

人工サーフィン場を活用した持続可能な交流人口拡大・健康まちづくりの実現！

- ① 【交流人口の拡大】 交流人口：約70万人（令和元年）→ 約200万人（令和6年）
- ② 【移住定住の促進】 社会増減数：40人（令和元年）→ 300人（累積、令和2年～令和6年）
- ③ 【健康促進】 サーフィン施設延べ利用者数：16,675人（令和8年度）※施設は令和4年12月竣工予定



<PRポイント>

- ① 【東京2020五輪で初採用！】 ～ハード整備の充実～
今、注目が集まるサーフィン等の体験ができる、**オリンピックレガシー**を活かした**人工サーフィン場**を整備。
- ② 【幅広い方々が楽しめる！】 ～アウトター事業の推進～
東京からのアクセスも抜群！**初心者**からオリンピック選手などの**プロサーファー**まで幅広い方々が利用可能。
- ③ 【親子で楽しみ、健康促進！】 ～インナー事業の推進～
通年利用可能！波を止めた状態では、**水中ウォーキング**や**親子で楽しめるシュノーケリング**、また、**SUPヨガ**など日々の体力づくりにも活用可能。



<継続的な取組を確保できる体制（図）>

町・DMO・各施設の指定管理事業者が連携し
スポーツ大会や宿泊等の誘致等事業を推進



<概要> 計画期間：～令和8年3月31日（※施設は令和4年12月竣工予定）

<現状・課題>

- これまで「スポーツを核としたまちづくり」の一環として、**オリンピック基準のホッケー場**や**テニスコート**、**世界レベルのアーバンスポーツパーク**等を整備し、プロ・アマ問わず**本格的な施設**でスポーツを楽しみたいという、町内外の利用者を多く獲得してきた。
- 一方、境町が目指す**子育て世代の移住者等の獲得**に向けては、**親子で楽しみ**、更には**健康促進**にも繋がる**スポーツ施設が不足**している。
- 更なる、住んでよし・訪れてよしのまちづくりを進めるため、**東京駅-境町間の高速バス運行**や、**ハワイ州ホルル市との姉妹都市協定**を結んでいる強みも活かし、政策を進めていく必要がある。

<総合的な取組内容>



【フォローアップ欄】令和5年度以降における計画の進捗状況

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：企画部地方創生課
- 地方スポーツ推進計画：なし
- 地方版総合戦略：第六次境町総合計画
- 地域スポーツコミッション：なし
- その他：境町まち・ひと・しごと創生総合戦略



第六次境町総合計画
(令和元年3月改訂)






境町まち・ひと・しごと創生総合戦略
(令和2年3月改訂)

【問合せ先・電話番号】

茨城県境町 企画部地方創生課 0280-81-1309

サイクルスポーツで賑わいのあるまちづくりプロジェクト

<目標分野> ※該当するものに

-  ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
-  ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
-  ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

<目標内容>

自転車を活用した賑わいのあるまちづくりの創出

- 自転車専用コースの整備により、本気でサイクルスポーツが楽しめる環境整備
- 補助輪の卒業から本格的な周回レースまで、さまざまなレベルの自転車体験
- サイクリストの周辺観光資源への誘導による賑わいの創出



<PRポイント>

【“わたらせサイクルパーク” 整備によるサイクルスポーツを通じた地域活性化】

- ◆いつでも自由に走行可能な自転車専用コースで**サイクリストを育成、自転車をスポーツとして楽しめる環境整備**
- ◆施設の**管理運営を地元のプロサイクルロードレースチームに委託**、初心者から本格派まで多様なイベントを実施
- ◆自転車の回遊性を活かして渡良瀬遊水地の自然やレジャースポーツ、周辺地域の食など**観光資源へ誘導**



<概要> 計画期間：～令和6年3月31日

<現状・課題>

- ・栃木県では人気スポーツ第3位に『自転車』が選ばれるなど、自転車競技への関心が高まっている。
- ・初心者が安全にサイクルスポーツを楽しめる環境に限られており、競技人口の増加につながらない。
- ・拠点設備がないため、サイクリスト向けの効果的なPRが行えず、地域資源を活用しきれていない。

<総合的な取組内容>

① 専用の施設で安全に楽しめる自転車環境の整備

- ・全長約1.5 kmの**自転車専用コースの整備**
- ・**常設のモジュラーバンクトラック**の設置



わたらせ
サイクルパーク


② 定期的な幅広い自転車イベントの開催

- ・ロードバイクやタンデムバイクなどの各種体験会
- ・**年齢・経験別に対象を細分化した本格的レースの開催**

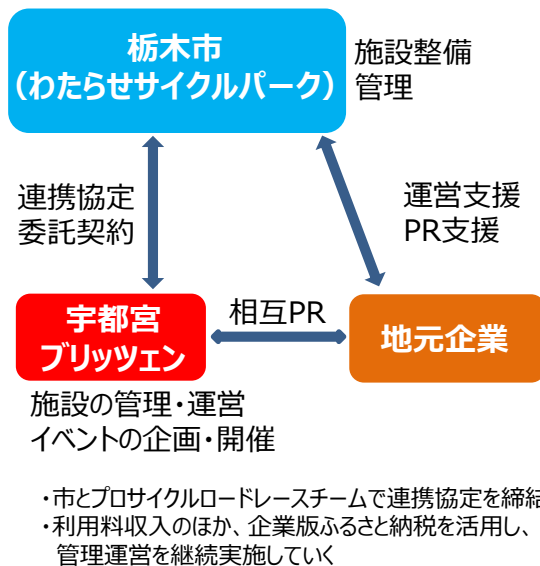
③ 自転車を通じた周辺地域の活性化

- ・イベント開催等を通じてサイクリストへの地域観光資源のPR
- ・**わたらせサイクルパークを核としたサイクルツーリズムの実施**



 **交流人口の増加、賑わいの創出へ**

<継続的な取組を確保できる体制（図）>



各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：
総合政策部 総合政策課 スポーツ連携室
- 地方スポーツ推進計画：
栃木市スポーツマスタープラン（平成28年3月策定）
- 地方版総合戦略：
栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年4月策定）
- 地域スポーツコミッション：なし



栃木市
公式HP

【問合せ先・電話番号】

栃木市 総合政策部 総合政策課 スポーツ連携室
TEL 0282-21-2591

<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

<目標内容>

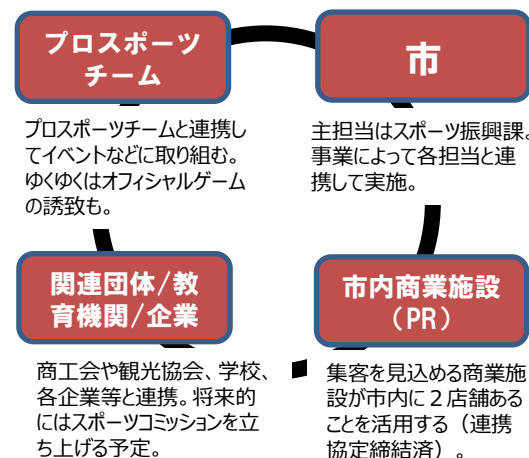
地域内連携やデジタル技術を活用してスポーツ実施率を向上し、「健幸・スポーツ都市」を実現

- 【具体目標】
- ① スポーツ実施率 53.4%(令和2年度)▶65%(令和8年度)※以下、現状値は令和2年度現在の値、目標値は令和8年度
 - ② 運動・スポーツが好きな児童生徒の割合・・・小学校90.2%▶95%、中学校70.2%▶85%
 - ③ 学校開放施設利用者数 約17万人▶19万人以上、公共スポーツ施設利用者数 約92万人▶100万人以上

<PRポイント>

- ① **最先端！デジタル×スポーツの取り組み**▶デジタルスポーツマシンを活用した市民の運動習慣化及びフレイル予防などの健康増進プログラムについて研究。
- ② **地域内で連携し効率的なイベント運営を**▶企業や学校等と地域内連携を図り、事業の効率化、継続化を図る。
- ③ **市内スポーツ活動をPR！活動の活性化を**▶個人や団体、イベント活動を動画で積極的にPR。

<継続的な取組を確保できる体制（図）>



<概要> 計画期間：～令和9年3月31日

<現状・課題>

- ① 高齢化率は31.3%（2022年4月現在）と全国平均（29.1%：2021年9月現在）に比べて高い。医療・介護需要の大幅な増加が見込まれる「2025年問題」を見据え、市民自らが健康づくりや介護予防などに携わっていくことが必要。
- ② スポーツ実施率が53.4%と目標値である65%を下回っている。

<総合的な取組内容>・・・各取組を総合的に実施することで、「健幸・スポーツ都市」を実現

楽しみながら健康にデジタル×スポーツ＝健康増進を研究

デジタルスポーツジムや関係機関と連携し、スポーツ実施率の向上及びフレイル予防等健康増進などのプログラム開発のための研究を実施。

先進的

地域内連携で継続的なスポーツイベントを

市内スポーツ団体や学校、企業、プロスポーツチームと連携し、イベントを共催。事業の効率化・継続化を図る。

スポーツ動画でPR 市内スポーツの活性化へ

スポーツに特化した動画チャンネルを立ち上げ、市内で活動する個人や団体、イベントを紹介し、市民の関心惹起等を図る。



eスポーツと異なり、実際に身体を動かすデジタルマシンを活用した健康増進プログラムについて、関係機関と連携して研究



商業施設で開催された3×3イベント



7月に立ち上げた動画チャンネル

「健幸・スポーツ都市」の実現へ

【フォローアップ欄】令和5年度以降における計画の進捗状況

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：健康・子ども未来部
スポーツ振興課
- 地方スポーツ推進計画：令和4年3月策定
- 地方版総合戦略：久喜市総合振興計画
(平成25年度策定)
- 地域スポーツコミッション：設立準備中
(令和6年度設立予定)
- その他：

【問合せ先・電話番号】

久喜市スポーツ振興課・0480-22-1111

<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

<目標内容>

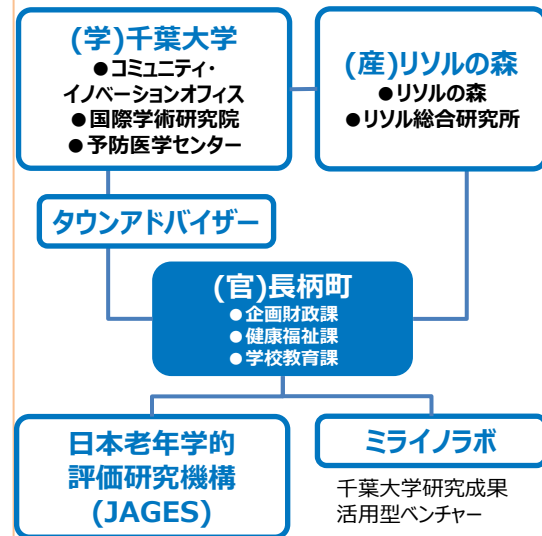
豊かな自然と首都圏からの地理的優位性を活かした移住・定住を推進するとともに、住民と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護が受けられるまちを目指す。千葉大学・リソルの森と連携し、「暮らしているだけで、健康になるまちづくり」をテーマとした、エビデンスに基づく大学連携型生涯活躍のまちを推進する。

<PRポイント>

【千葉大学】地方創生に係る包括的な連携協定を締結し、エビデンスに基づいた健康・スポーツの取組みを推進。
【リソルの森】スポーツ、レジャー、合宿、医療等を提供する総合健康スポーツ施設を活用し、セミナーや交流を実施。

<継続的な取組を確保できる体制（図）>

H27に締結したCCRC推進の3者協定に基づき産官学が協働。長柄町は千葉大学からタウンアドバイザーを招聘し連携を推進。



<概要> 計画期間：～令和5年3月31日

<現状・課題>

- ① 高齢化、人口減少 →健康ポイント事業の参加者拡大、健康寿命の延伸。移住定住の推進、町のPR。
- ② オリパラを契機としたレガシー →小中学生でのスポーツの普及、スポーツによる健康増進。

<総合的な取組内容>

長柄町版CCRCの実現に向けた大学との連携によるスポーツ・健康の取組

① エビデンスにもとづく健康まちづくり

【健康とくらしの調査・健康ポイント】

町民が楽しく健康づくりに取り組める事業。JAGESによる「健康とくらしの調査」を継続して実施



(得られた成果) フレイルからの回復者の特徴を町報で周知。年齢などを調整の上、通いの場参加による要介護リスク低下を確認

【ウェルネストラック】

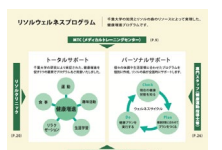
運動強度などを示したサインと自然を楽しむウォーキングルートを産学連携で開発し、リソルの森に設置



(得られた成果) 情報伝達をデザインし、健康や環境に対する気づきを促進 (田島・他, 2021)

【健康寿命延伸プログラム】

社会参加を取り入れた運動・健康プログラムを千葉大学予防医学センターと共同開発しリソルの森で商品化



(得られた成果) 高齢者にグループ運動への参加を促すことで、運動継続者が増加 (河口・他, 2022)

【Sport in Life健康セミナー】

青山剛プロコーチ指導によるシニア・ビジネスパーソン向け健康セミナーを共同開催

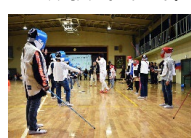


(得られた成果) 正しい運動方法を知ること、週1回以上の運動機会が増加

② 子どものスポーツ機会の創出

【オリパラ競技体験会】

千葉大学生によるオリンピック競技（フェンシング）やパラ競技（ボッチャ）の体験会を全小学校で開催



【プロコーチレッスン】

青山剛プロコーチ指導の「走るコツ」セミナーを全小中学校で開催



【トップアスリート交流】

トライアスロン日本代表上田藍・岸本新菜選手のトークショーを小中学生向けに配信



(今後の展開) 得られた成果に基づいて戦略を立て、町全体の健康増進とスポーツ振興を図り、高齢者で効果まで検証する。

(今後の展開) 事業を継続し、子供たちのスポーツや健康に対する意識を高める

【フォローアップ欄】 令和5年度以降における計画の進捗状況

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：企画財政課
- 地方スポーツ推進計画：無
- 地方版総合戦略：長柄町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 地域スポーツコミッション：無
- その他：無

【問合せ先・電話番号】

長柄町企画財政課企画広報統計係
0475-35-2110 (直)

育てよ！町の宝 ～郷土愛を育む"スポーツ×文化"による地域活性化プロジェクト～



<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

<目標内容>

育てよ！町の宝 ～未来を担う若者が育ち、みんなが誇れるまちづくり～

【具体目標】

・スポーツをきっかけとした交流人口・関係人口の拡大 ・観光・商工業・農林水産業の振興による稼ぐ地域づくり

<PRポイント>

【スポーツ・文化 両輪でまちの魅力を発信】

関係団体・地域資源をつなぎ合わせ、通過型観光から滞在型観光へとシフト

【豊富な地域資源】

- 能登最高峰「宝達山」
- 日本で唯一の砂浜を車で走れる海岸「なぎさドライブウェイ」
- 高級ぶどう「ルビー・ロマン」
- 黒いダイヤ「黒蜜姫(黒いちじく)」
- 白いダイヤ「宝達葛」

<概要> 計画期間：～令和7年3月31日

<現状・課題>

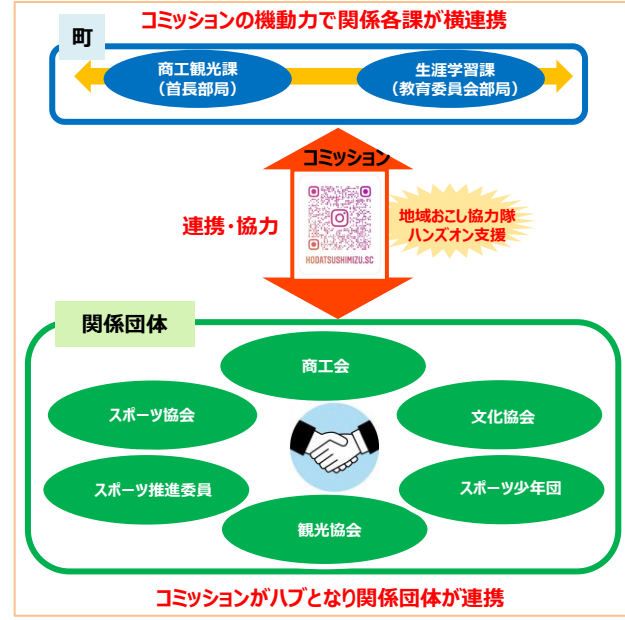
- ・関係団体一体となった誘客体制が整っておらず、観光客の周遊性が低い。
- ・地域の活力向上に向け、交流拠点の整備やイベントの開催等を通じた交流人口・関係人口の拡大が必要。

<総合的な取組内容> 第2次宝達志水町総合計画

- 「未来のために学び、楽しむ」
- 「産業の可能性を芽吹かせ育てる」



<継続的な取組を確保できる体制 (図)>



各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先 教育委員会生涯学習課
 - 地方スポーツ推進計画：なし
 - 地方版総合戦略 第2次宝達志水町総合計画
 - 地域スポーツコミッション NPO法人宝達スポーツ文化コミッション(R2.3設立)
- 第2次総合計画 QRコード
- 地域再生計画 QRコード
- 町HP QRコード

【問合せ先・電話番号】
 宝達志水町教育委員会生涯学習課
 TEL:0767-29-8320

韮崎市「ウェルネスの実現」まちづくり計画

※「ウェルネスの実現」とは、市民が健康と生きがいを見つけ人生の質を高める生き方

<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

<目標内容>

韮崎市スポーツコミッションのインナー（域内）施策及びアウトター（域外）施策の一元的な取り組みによる「ウェルネスの実現」
 インナー施策 ⇨ 地域スポーツ振興組織の再生、地域部活動制度の統轄、パラスポーツの振興
 アウトター施策 ⇨ トレイルランニングの聖地化、冬季アウトドアスポーツイベントの開催、スポーツイベントの一元的管理運営
 ※ 令和7年度を目途とする韮崎市スポーツコミッションの独立民営化

<PRポイント>

○韮崎市のスポーツ振興施策を全て「韮崎市スポーツコミッション」へ！

- ・地域部活動制度の統轄 ⇨ 令和5年度から始まる地域部活動制度を韮崎市スポーツコミッションで統轄
- ・トレイルランニングの聖地化 ⇨ 韮崎にしかない、韮崎に行けばスグできるトレイルランニングエリアの充実と聖地化
- ・スポーツイベントの一元的管理運営 ⇨ 縦割的スポーツイベントを打破し、韮崎市スポーツコミッションに一元化
戦略的スポーツイベントの実施へ

<概要> 計画期間：～令和8年3月31日

<現状・課題>

- ・少子高齢化に基づく人口減少社会により、今後の地域スポーツ振興体制の維持が困難
- ・令和5年度からの地域部活動制度の導入への対応、統括組織の整備が急務
- ・気軽にトレイルランニングを実施できる環境の不足
- ・縦割的運営による計画的、戦略的ではないスポーツイベントの実施



<総合的な取組内容>



韮崎市スポーツコミッション

持続可能な体制へ

◆インナー事業

地域スポーツ振興組織の改革
 地域部活動制度の統轄
 パラスポーツの振興

◆アウトター事業

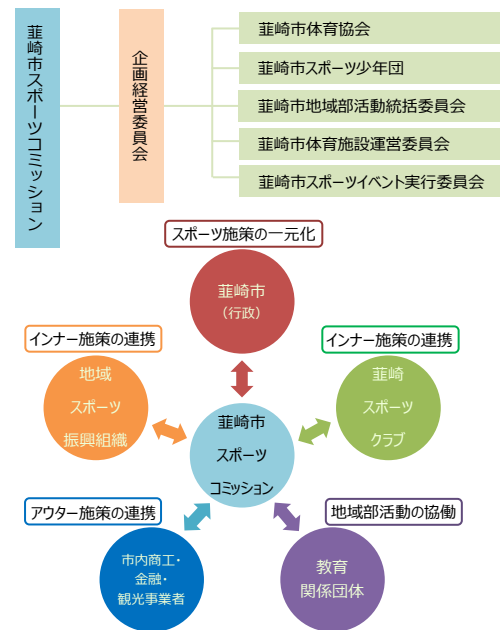
トレイルランニングの聖地化
 冬季アウトドアスポーツイベントの開催
 スポーツイベントの一元的管理運営
 スポーツ拠点の整備

韮崎市の至高目標

ウェルネスの実現



<継続的な取組を確保できる体制（図）>



各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先： 韮崎市教育委員会 教育課
- 地方スポーツ推進計画： 第2期韮崎市スポーツ推進計画（平成27年策定）
- 地方版総合戦略： 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略人口ビジョン（令和2年策定）
- 地域スポーツコミッション： 韮崎市スポーツコミッション（令和4年3月19日設立）
- その他： 韮崎スポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）（平成13年12月設立）

【問合せ先・電話番号】

韮崎市教育委員会 教育課スポーツ振興担当
 （韮崎市スポーツコミッション 事務局）

☎ 0551-22-0498

【フォローアップ欄】 令和5年度以降における計画の進捗状況

ホームタウンNAGANOまちづくり連携推進ビジョン



<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

<目標内容>

本市をホームタウンとする4つの地域密着型プロスポーツチームと**共通の数値目標を設定し、連携して事業に取り組むことで、【スポーツで「人」と「まち」のポジティブサイクルがまわる長野】**を目指す。
【数値目標】 ①市民のスポーツ実施率 62.3%→65% ②ホームゲーム観客入場者数 9.1万人→36.6万人
 ③ホームゲーム開催による経済波及効果 19.6億円→41.3億円

<PRポイント>

【スポーツで「人」と「まち」のポジティブサイクルがまわる長野】

スポーツの力を最大限活用し、「地域ブランドの向上・地域愛の醸成」や「地域経済の拡大」など、スポーツで「まち」が元気になる好循環を創出し、**スポーツの成長産業化・基幹産業化**を目指す。

<概要> 計画期間：～令和9年3月31日

<現状・課題>

- ・平成10年に開催された**1998長野オリンピック・パラリンピック冬季競技大会**を契機とした有形・無形の財産を活用し、スポーツの推進に取り組んでいる。
- ・高齢化率は全国に比べると若干高く、健康寿命の延伸や社会保障費の抑制といった観点から、**スポーツや運動による日常的な健康づくり**が求められている。

<総合的な取組内容> 相乗効果を生めるよう、互いの目指す成果を「見える化」していきながら、下記の事業を実施



「する」スポーツ

スポーツ教室・スポーツイベントの開催、運動指導



「観る」スポーツ

ホームタウンデーの実施、スタジアム・アリーナ設備の充実、商店街等との連携、観光情報の発信



「つながる」スポーツ

東日本台風被災からの復興推進、スポーツボランティア活動の促進、地域事業者との連携推進



アリーナ及び練習拠点の高機能化による地域活性化事業

企業版ふるさと納税制度を活用し、アリーナ及び練習拠点の高機能化、スポーツを通じた復興推進
 ※国の事業との有機的な連携（企業版ふるさと納税制度の活用）

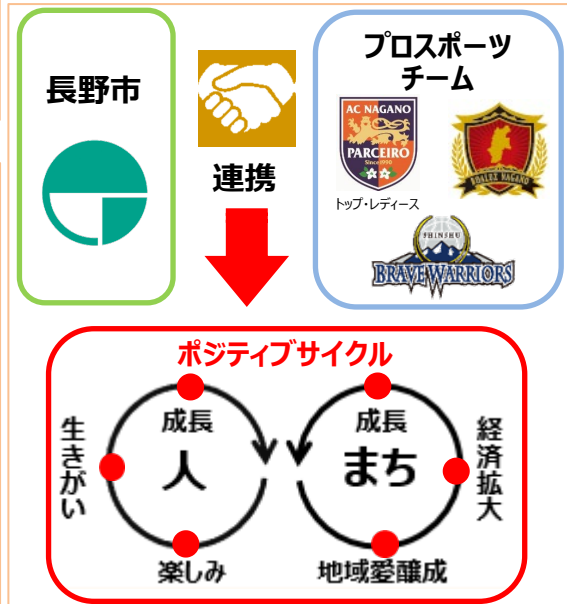
スポーツ実施率増

スポーツの振興

ホームゲーム観客入場者数増 経済波及効果増

スポーツによる振興

<継続的な取組を確保できる体制（図）>



各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：長野市文化スポーツ振興部スポーツ課
- 地方スポーツ推進計画：第三次長野市スポーツ推進計画（R4.4）
- 地方版総合戦略：第五次長野市総合計画後期基本計画（R4.4）
- 地域スポーツコミッション：スポーツコミッション推進室（H29.4）

【問合せ先・電話番号】026-224-7804

長野県長野市文化スポーツ振興部スポーツ課スポーツ振興担当

スポーツでつくる！育てる！磐田の未来創造プロジェクト ～スポーツのまちを体感できるまちづくり～

< 目標分野 > ※該当するものに全て印

- ☑ ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ☑ ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ☑ ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

< 目標内容 >

- ① **プロスポーツチーム等を核に、豊富なスポーツ資源を活用した、人と企業が集まるまちづくり**を目指す。
- ② **市民の誰もがスポーツの楽しさを享受できる環境を作り、市民のスポーツ実施率の向上**を目指す。
- ③ **部活動の段階的な地域移行に対応する受け皿を作るなど、子供たちに豊かなスポーツ体験を提供**する。

< PRポイント >

トップレベルのスポーツを体感できるまち

プロスポーツチーム等の活動拠点、オリンピック輩出の地として、トップレベルのスポーツを身近なものとして体感できる取組を行う。

産官学の連携体制が充実

プロスポーツチームや大学等と行政が互いに顔の見える関係のもと連携している。

スポーツの場や機会の充実

卓球場や天然芝グラウンドなどの特徴的な施設に加え、公園などもスポーツの場として紹介するとともに、家事や育児など生活の中で体を動かすことをスポーツととらえ、広く啓発・普及を図っていく。

< 概要 > 計画期間：～令和7年3月31日

現状・課題

卓球のオリンピックなど数多くのトップアスリートを輩出しており、サッカーの**ジュビロ磐田**、ラグビーの**静岡ブルーレヴズ**などプロスポーツチーム等の活動拠点でもある。市民がスポーツに親しむ環境が整う一方、スポーツのまちとしての魅力を発信することや、豊富なスポーツ資源を整理・活用することについては課題が残る。今後は、プロスポーツチーム等を中心としたスポーツ資源の活用を推進し、「人と企業が集まる活力あるまち」、「日常の中でスポーツの楽しさを体感できるまち」を目指していく。

総合的な取組内容

ジュビロ磐田 & 静岡ブルーレヴズとの連携事業



©JUBILO IWATA

ジュビロ & レヴズ
一斉観戦



サッカー & ラグビー
体験教室



スポーツ×食育×地産地消
ジュビロ飯



レヴズと公園で
ラグビー体験

生活の中にスポーツを

「●●はスポーツだ！」



< 継続的な取組を確保できる体制（図） >



各種基礎データ

- **スポーツ部局の所属先** 自治市民部スポーツ振興課
- **地方スポーツ推進計画** 磐田市スポーツ推進計画
(平成28年4月1日策定)
- **地方版総合戦略** 磐田市まち・ひと・しごと創生推進計画
- **地域スポーツコミッション** なし
- **その他** なし

【フォローアップ欄】 令和5年度以降における計画の進捗状況

【問合せ先・電話番号】

磐田市スポーツ振興課 0538-37-4832

<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化 ✓
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防 ✓
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換 ✓

<目標内容>

空手文化を創造し、スポーツ交流人口の拡大に繋げる

【目標：1,000人⇒3,000人⇒7,000人⇒10,000人！】

1. 市民の誰もが空手を語れるまちへ！
2. 全年代で空手のトップ選手を輩出し続けるまちへ！
3. 国内外から空手合宿や空手体験に訪れるまちへ！

<PRポイント>

御殿場市の持つ空手資源

- インターハイ史上初4連覇！御殿場西高等学校空手道部が所在
御西高を活用した空手を『みる、支える、知る』機会の創出可能！
- 御殿場市空手道連盟加盟道場が多くのトップ選手を輩出
市内道場の協力による空手体験の開催や空手合宿の誘致可能！

空手資源から生まれた東京2020大会レガシー

- 御殿場市にゆかりある空手代表選手との関係を構築
御西高卒日本代表やイタリア代表（ホストタウン）との交流機会の創出可能！
- 大会をきっかけに空手関係者との関係を構築
世界空手連盟、全日本空手道連盟、県連盟、市連盟との連携可能！

<概要> 計画期間：～令和8年3月31日

<現状・課題>

- 空手を『する』文化はあるが、『みる、支える、知る』機会が市内に乏しい。
- 御殿場西高等学校空手道部は市外・国外を転戦しており、その強さを市民が体感できる機会が無い。
- 市内道場が練習相手として合宿を誘致できる資源があるが、活かしていない。

<総合的な取組内容>

御殿場市の持つ空手資源を活用

- 御西高による子ども空手教室
 - ・御西高空手道部に憧れる子どもの創出
 - ・子どもたちの空手競技力向上
- 市内道場を活用した空手ツーリズム
 - ・全国の道場が合宿に訪れるまちへ

※スポーツ庁補助金活用



東京2020大会レガシーを活用

- 空手代表選手との交流事業
 - ・代表選手や海外への憧れ創出、競技力向上
 - ・空手を知る機会創出
- 全日本空手道連盟と連携した空手体験教室
 - ・学校授業にて未経験者が空手を知る機会創出

※スポーツ庁補助金活用



空手文化を創造、スポーツ交流人口拡大

【フォローアップ欄】令和5年度以降における計画の進捗状況

<継続的な取組を確保できる体制（図）>



SPORTS TOWN.
GOTEMBA
富士山の麓でスポーツ交流

スポーツタウン御殿場推進協議会（地域SC）

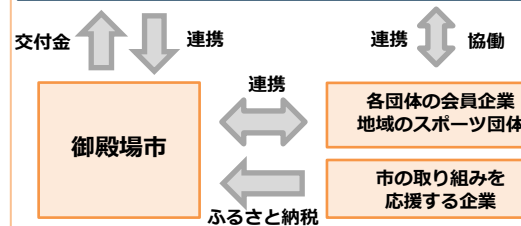
スポーツ交流によるまちづくりを30の官民連携で推進し、地域振興や地域経済の発展に繋げる。
⇒委員が4つの専門部会に分かれ事業を協議・推進

スポーツ
ツーリズム部会

スポーツ
交流部会

サイクルスポーツの
まちづくり部会

空手の
まちづくり部会



各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：
産業スポーツ部 スポーツ交流課
- 地方スポーツ推進計画：なし
- 地方版総合戦略：御殿場市
名称：第2期御殿場市まち・ひと・しごと創生総合戦略
策定年月：令和3年2月
- 地域スポーツコミッション：
名称：スポーツタウン御殿場推進協議会
設立年月：令和4年4月
- その他：
スポーツタウンHP <https://spotogotemba.com>



【問合せ先・電話番号】 電話：0550-82-7830
静岡県御殿場市 産業スポーツ部 スポーツ交流課



<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

<目標内容>

「スケボー」コンテンツの活用により、若年層へ魅力を発信し、定住・定着を促進し、**誇りを持てるまち まつばら**を目指す！

- 【具体的目標】
1. スケートボードパークの年間利用者数⇒8,200人の増加
 2. 観光入込客数⇒令和6年度末までの3年間で4,100人の増加

<PRポイント>

◆ “オール松原”による推進体制の構築！

官民が一体となって「スケボーのまち」実現に向けた魅力コンテンツを創出！

◆ 「スケボーのまち まつばら」で知名度UP & シビックプライド 醸成！

松原市＝「スケボーのまち」となるようなブランディングで、**知名度UP & 地域住民が誇りを持てる**魅力的なまちに！



<概要> 計画期間：～令和7年3月31日

<現状・課題>

- ・本市のターゲット世代である**20～30代の転出超過**
- ・**若年層へ求心力のあるコンテンツ**が不足



<総合的な取組内容> 「スケボー」で、地域への愛着UP & 雇用の受け皿創出 ⇒ 市への転入・定着促進 **“選ばれるまち”へ！**

1. 施設整備

●スポーツパークまつばら（H27オープン）

- ☞R4.4全天候型の新エリア拡充！
- ☞ジュニアスクールも充実！

詳しくはこちら↓



●スケートボードパークまつばら

- ⇒R4年度中整備予定！
- ☞「スケボーのまち まつばら」実現に向けた中核的施設
- ☞PPP/PFIも含めた運営コスト低減方策を検討

2. 地域内向け

●トップボーダー育成プロジェクト

- ☞トップ選手の経験を地域に還元！
- ☞次世代のトップボーダーを育成・輩出する！



●「スケボー」を地域クラブ活動へ！

- ☞地域クラブ活動として展開されることを想定したプログラム開発

3. 地域外向け

●産業振興プロジェクト

- ☞スケートボーダーのニーズを踏まえた新規事業の創出！



●賑わい・関係人口創出プロジェクト

- ☞スケボー×音楽/ファッション/アート/グルメの複合イベントを開催



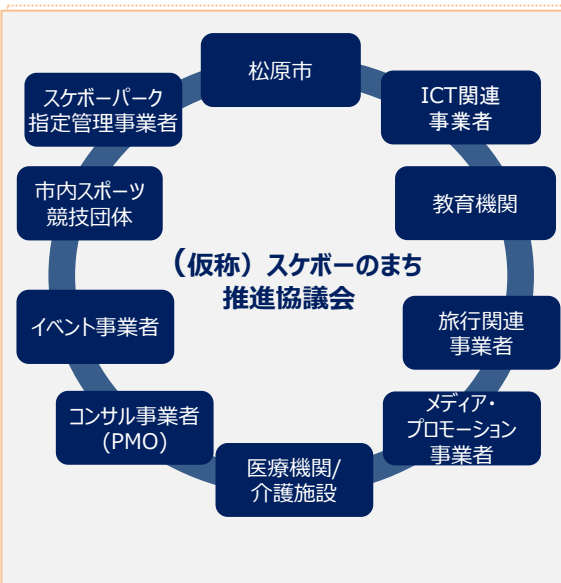
●松原市ブランディングプロジェクト！

- ☞「スケボーのまちまつばら」を全国にPR！

&

「スケボーのまち まつばら」に住んでよかった！シビックプライドの醸成

<継続的な取組を確保できる体制（図）>



各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：市民協働部 いきがい学習課
- 地方スポーツ推進計画：なし
- 地方版総合戦略：第2期松原市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 地域スポーツコミッション：（仮称）スケボーのまち推進協議会（R5.1月設立予定）

ウィルチェアスポーツを通じたまちづくりの推進プロジェクト

<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

<目標内容>

東大阪市花園ラグビー場が立地する花園中央公園を様々なスポーツの拠点として活用し、

- 「みる」楽しみ、「する」楽しみ、「ささえる」楽しみを創出
- 国籍、年齢や性別、障害の有無に関わらず、誰もがともに楽しめるスポーツを契機とした共生社会を実現

<PRポイント>

【日本初屋外型ウィルチェアスポーツ施設誕生】

ウィルチェアスポーツの普及で共生社会を実現。ウィルチェアスポーツの聖地へ。

【スポーツで「かがやく」「ひろがる」「つながる」まち ひがしおおさか】

多角的なスポーツ施策の推進により、「みる・する・ささえる」を市民とともに享受する仕組みを構築。

<概要> 計画期間：～令和7年3月31日

<現状・課題>

- ・現在、車椅子ソフトボール・車いすハンドボールの利用にとどまっている。ウィルチェアスポーツは屋内での競技が多く、屋外での競技普及が課題となる。
- ・国際組織が確立されていない団体や国内組織があり、体制的に脆弱であり自立していける組織に至るまで時間を要する。

<取組内容>

聖地花園の東側に日本初となる屋外型ウィルチェアスポーツ施設を設置し、定期的な体験会の実施や著名な選手を招待した情報発信等の取組を実施する。

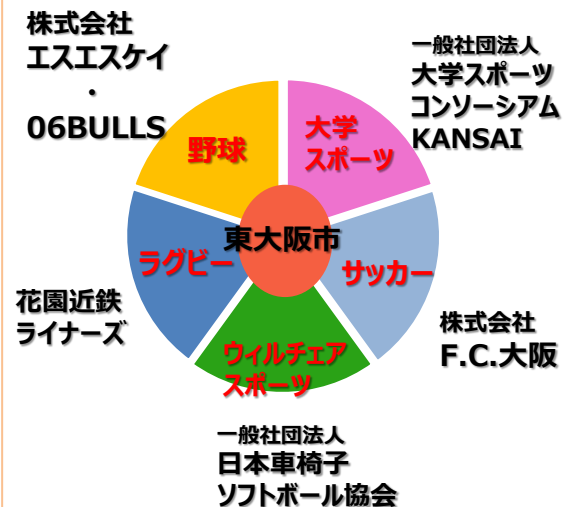


ウィルチェアスポーツコート



- ・ **ウィルチェアスポーツ普及啓発事業**：連携協定を締結している企業のサポートを得てイベント等を実施
- ・ **ウィルチェアスポーツ体験事業**：車椅子スポーツの体験会の実施。
- ・ **賑わいづくりの促進事業**：花園中央公園において、ウィルチェアスポーツをはじめ、ラグビー、サッカー、野球などのスポーツイベントを同時開催。
- ・ **車椅子ソフトボール大会等の開催**

<継続的な取組を確保できる体制（図）>



各種基礎データ

- **スポーツ部局の所属先**：都市魅力産業スポーツ部花園・スポーツビジネス戦略課
- **地方スポーツ推進計画**：東大阪市スポーツ推進計画
- **地方版総合戦略**：第2期東大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- **地域スポーツコミッション**：一般社団法人東大阪ツーリズム振興機構

【問合せ先・電話番号】06-4309-3019

大阪府東大阪市

都市魅力産業スポーツ部花園・スポーツビジネス戦略課

<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

<目標内容>

スポーツを通じた健康づくりを推進するために市民、地元企業、スポーツ業界等とのパートナーシップを構築し、未来への希望が芽生える取組を実施することでシビックプライドを醸成し、定住人口、関係人口の獲得による持続可能なまちの実現を目指す。

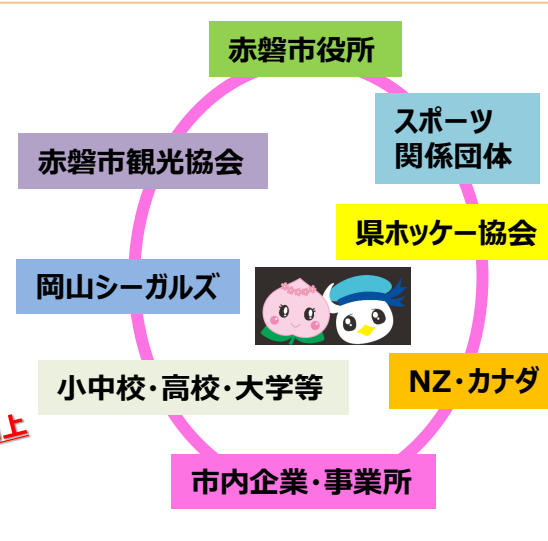
ここが**推し**なんじゃあああ



<PRポイント>

- 国際大会にも対応できる全国有数の**ホッケー場**があり、**ホストタウン**としてニュージーランド代表やカナダ代表との交流関係が持続。**交流関係を、関係人口の拡大とともにスポーツ人材育成や地域活性化**に活かす。
- 市内に整備されている多彩なサイクリングルートを活かし、**自転車を使った健康まちづくり**を進める。
- 行政内の連携は勿論のこと、地元企業や学校など色々なステークホルダー等、**地域一体となって進める**。

<継続的な取組を確保できる体制（図）>



<概要> 計画期間：～令和6年3月31日（予定）

<現状・課題>

- ・青年期・円熟期の世代の健康づくりは今後の医療費の抑制にも重要であるが、その世代への効果的な働きかけができていない。
- ・リモートワークなどの普及など、新しい生活様式に即した、個々で取り組む健康づくり事業が必要。それらと市内にあるオンリーワン資源（施設・人）を組み合わせる活かし取り組みができていない。

<総合的な取組内容>

子ども **人材育成**

身体動かすこと楽しい！すごい！こんな選手になりたい！



オリンピック等との交流の場の創出

地域住民 **関係人口 地域活性化**

ホスピタリティを醸成、地域に元気を！



事業所や市民によるおもてなし

地域の大人 **健康寿命の延伸 地域活性化**

自分の健康のこと考えないとは思っているけれど、何から始めたらいいかな？



健康ポイント事業、自転車を活用した健康づくり事業

地域の企業 **生産性向上**

従業員の健康は健全な経営につながるから大切



栄養士・保健師による健康出前講座

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：教育委員会社会教育課
- 地方スポーツ推進計画：赤磐市スポーツ推進計画
- 地方版総合戦略：第2期赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 総合型地域スポーツクラブ：NPO吉井スポレククラブ、(社)ELSOL
- その他：ホッケー競技ホストタウン（NZ、カナダ）



【フォローアップ欄】令和5年度以降における計画の進捗状況

【問合せ先・電話番号】岡山県赤磐市
 教育委員会社会教育課 086-955-0738
 総合政策部政策推進課 086-955-1220

<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

<目標内容>

三好市の「ウォータースポーツのまち」としての認知度を背景に、本市固有の観光資源である 吉野川の自然環境を活かし、池田湖を観光拠点化し、域内外の市場産業の確立、幅広いユーザーの取り込みによる観光消費額の増加、交流・関係人口の拡大へとつなぎ、将来的な移住者の増を目指す。 【数値目標：大会・イベント等参加者数 0 ⇒ 5,900 人】

<PRポイント>

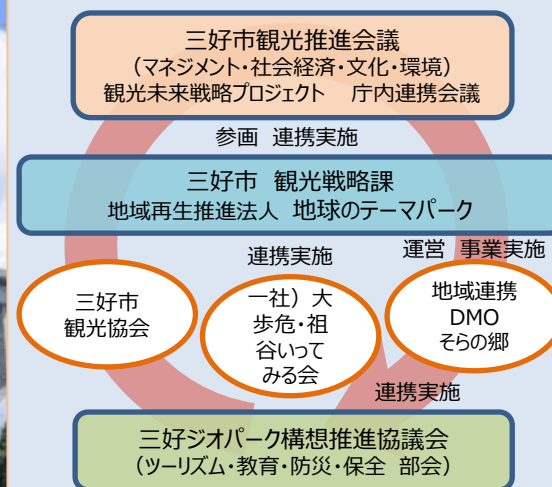
- ① **未来の人づくり**・・・小中高生対象にレースラフティング・ウェイクボードの競技者育成（三好ラフティングチームTRAKT・イケダコイレブン）と郷土愛の醸成
- ② **アウトドアスポーツツーリズムの拠点整備と持続可能な観光地域づくり**・・・池田湖を観光拠点化、誰でもが手軽にウォータースポーツを体験できる環境づくり、ウェイクボード・ラフティング各種競技大会の開催、観光やエンターテインメントとの組み合わせによる来訪者が楽しめるイベント実施、人の魅力を創出「アウトドアマイスター」の養成からリピーターの獲得
- ③ **発信力のあるメディアの構築**・・・独自メディア(三好市ポータルメディア)の構築、情報の制作を一元管理、SNSを活用した国内外への戦略的情報発信

<概要> 計画期間：～令和5年3月31日

<現状と課題>

- ① 当市の人口減少傾向は厳しく、就業人口の減少、後継者不足から、地場産業の衰退、若者の市外への流出、商店街の衰退など負の連鎖を招き、市内消費活動の減少、域内の市場産業の維持も困難になっている。
- ② 一方で河川環境を活かした観光産業においては、祖谷のかずら橋、祖谷渓谷、大歩危峡観光遊覧船、温泉宿泊施設などの静のアクティビティが主流であり、体験型など動のアクティビティは、個人のラフティング体験のみとなっていて、不足している。
- ③ さらにその観光動態は、一泊及び日帰りの通過型観光が主流となっており、観光消費額を低めている。

<継続的な取組を確保できる体制（図）>



<総合的な取組内容>

自然環境を活かした アウトドアスポーツのまちづくり



未来の人づくり
三好ラフティングチーム
TRAKT

池田湖を観光拠点化
誰でもが手軽に体験
Hessokko水あそびパーク

三好ジオパーク構想

～ジオ（大地）をもとにした地域資源のつながりを活用～

新たな観光コンテンツの造成
ラフトレ！・ラフトでジオ・遊覧船でジオ・
ワーケーション・テントサウナ



三好PRサポーターのSNS発信をご覧ください

発信型ポータルメディアの構築
まるごと三好観光ポータルメディア

地方創生推進交付金の活用

観光消費額増加・交流関係人口の拡大

～持続可能な地域社会の実現～

【フォローアップ欄】令和5年度以降における計画の進捗状況

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：
三好市教育委員会社会教育課
- 地方スポーツ推進計画：
三好市スポーツ振興基本計画（2011年2月）
第2期三好市スポーツ推進計画（2022年3月）
- 地方版総合戦略：
（2021年10月改訂）
第2次三好市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 地域スポーツコミッション：設置なし
- その他：第2次三好市観光基本計画（2020年4月）
三好ジオパーク構想基本計画実行計画（2020年11月）
三好市HP https://www.miyoshi_i-tokushima.jp
三好市公式観光サイト <https://miyoshi-tourism.jp>
まるごと三好観光ポータルメディア <https://miyoshi-city.jp>

【問合せ先・電話番号】

徳島県三好市まるごと三好観光戦略課 0883-72-7620

「武雄×スポーツ」まちづくりを始めます！～SAGA武雄温泉スポーツコミッション事業～

<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

<目標内容>

スポーツによる人と人との交流及び地域の交流を促進し、市民の「**生活の質、心の豊かさ**」を向上させる
 【具体目標】 ①スポーツ大会、合宿等の宿泊者数（H30 2,147人 ⇒ R6 3,000人）
 ②スポーツイベント等への参加人数（H30 4,909人 ⇒ R6 6,000人）

<PRポイント>

●【自然豊かな歴史あるまち】

武雄市は、四方を取り囲む山々に佇む温泉郷。鮮やかな朱塗りの楼門をシンボルに持つ**武雄温泉**は1300年の歴史を誇る。市内（735年創建）の由緒ある武雄神社、樹齢3000年の大楠などのパワースポット、蔦屋書店やカフェが併設する武雄市図書館・歴史資料館も全国から注目を集める。

●【新野球場・新体育館のオープン】

令和4年度に武雄市民球場、令和5年度に武雄市民体育館がオープン。効果的な**合宿・大会**の誘致を行う。

●【SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会】

国スポ・全障スポを契機に佐賀県武雄市の魅力を発信する。



SAGA 2024 国スポ 全障スポ **TAKEO**



<概要> 計画期間：～令和7年3月31日

<現状・課題>

- 令和4年度に西九州新幹線が開業し、当市は観光や移住、経済活動等の拠点となる「西九州のハブ都市」としてまちの発展が期待される。スポーツはまちの活性化を後押しするとともに、市民の健康づくり、生きがいづくりにつながる。
- 経営難による宿泊施設の閉鎖が増加。スポーツ合宿者のニーズに沿った宿泊施設の不足。人手不足による二次交通の供給減。

<総合的な取組内容>

<第2期武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略>

基幹事業 まちに開かれたスポーツ交流広場事業

スポーツによる人と人との交流及び地域の交流を促進し、市民の「生活の質、心の豊かさ」を向上させる → 「**スポーツコミッション**」の設立

【具体的事業】

◆スポーツツーリズムコーディネーター人材育成

地域おこし協力隊の制度を活用した人材育成や地域住民を巻き込んだ組織構築を創出します。

◆スポーツ合宿・大会の誘致

施設整備やSAGA2024開催を契機とした、合宿・大会の誘致を行い、地域活性化を行います。

◆スポーツツーリズムの開発

地域の特色を生かしたスポーツアクティビティを開発します。

◆スポーツ×食のプログラム

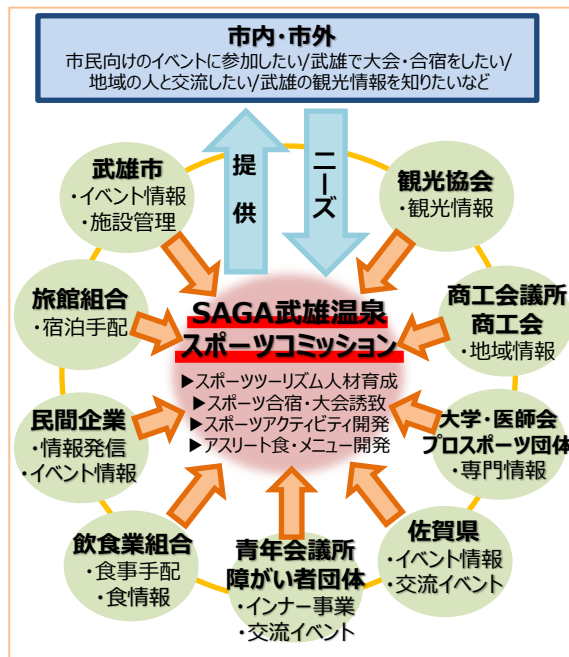
地域の特産品を使ったアスリートの体づくりを補助する食品メニューの開発やスポーツ栄養セミナーの開催、アスリート食のデジタルコンテンツの作成、おススメの事業化を目指します。



スポーツと様々な産業をつなげ、まちをさらに豊かにする

武雄市全体が合宿・大会を応援するまちに

<継続的な取組を確保できる体制（図）>



各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：企画部スポーツ課
- 地方スポーツ推進計画：無
- 地方版総合戦略：第2期武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 地域スポーツコミッション：SAGA武雄温泉スポーツコミッション

【問合せ先・電話番号】

佐賀県武雄市企画部スポーツ課
0954-27-7091



【フォローアップ欄】 令和5年度以降における計画の進捗状況

女子サッカーのまち～「する」「みる」「ささえる」で「健幸」になる～



<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

<目標内容>

女子サッカー（みやきなでしこクラブ）を軸として、スポーツで地域の賑わいを創出する！

【具体的な目標】

- ★年間転入者数（899人→1,080人）★スポーツイベント年間参加者数（719人→1000人）
- ★スポーツ交流拠点の年間利用者数（170,179人→240,000人）★健康寿命の引き上げ（男女ともに、84.45歳→84.65歳）

<PRポイント> 全国自治体初!!「女子サッカー推進室」を設置!!～「女子サッカーのまち宣言」～

【トップアスリートの協力】・・・スポーツ政策ディレクターに元なでしこジャパンGK海堀あゆみ氏就任！魅力あるスポーツサービスの提供を行う

【持続可能なシステム】・・・引退した選手のセカンドキャリアを本町を舞台とし、町に定着することで、アスリートの経験を地域に還元！！

<概要> 計画期間：～令和7年3月31日

<現状・課題>

- ◆ 将来的な人口減が見込まれ、魅力ある町となるため、これまで以上に定住人口・交流人口を拡大する方が必要
- ◆ 県内中学校に女子サッカー部がない/少子化によるスポーツクラブの減少で、子どもたちがサッカーを続ける環境が少ない

詳しくはこちら↓



女子サッカーを軸としたスポーツでまちづくり →地域がにぎわい、誰もが健康・幸せ・活躍できる持続可能なまちへ！

みやきなでしこクラブ

MIYAKI SAGA JAPAN EST.2020

Since2020

- 交流人口UP！
- 子どもの競技力人間性UP！
- 地域スポーツ普及UP！
- 地域住民健康UP！

- ・多目的人工芝グラウンド建設（検討中）→全国大会規模の大会を誘致し地域活性化！
- ・U12～18 人材育成プログラム
 - ・語学研修、日本文化習得など人間性を育み、世界も視野に！
 - ・～小学校向け：体づくりプログラム
 - ・中～高校向け：部活動の受け皿に！
- ・地域資源を活かしたイベントの開催
 - ・セルフメディケーションの定着
 - する、みる、地域でささえる、場づくり



子ども向けスポーツ適正診断



田んぼでどろんこサッカー

2023 TOPチーム創設

現役中の働き口を支援
・生活が安定し、地域で活躍！

引退後のセカンドキャリアを確保
・みやき町で勤務し、経験を後進に！



活動下支え！



アスリートのまちへの定着！

※ クラブのサポートは地域おこし協力隊、活動資金はふるさと納税活用

<継続的な取組を確保できる体制（図）>



各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：女子サッカー推進室
- 地方版総合戦略：第2期総合戦略
- 地域スポーツコミッション：一般社団法人みやきスポーツコミッション（設立：2020年4月7日）

【問合せ先・電話番号】 0942-89-1655
佐賀県みやき町総務部女子サッカー推進室

スポーツと文化で大津町の魅力を発信！～地域経済活性化プロジェクト～

<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

<目標内容>

スポーツのまちづくりや町の地域資源を生かした着地型観光商品など、観光産業とスポーツ文化事業との連携による新しいコンテンツ創出に、官民連携のもと取り組むことにより、交流人口の増加につなげるとともに、地域活性化を図る。

【数値目標：ツーリズム参加者数 75人(R2)→112人(R3)→142人(R4) 329人(累計)】

<PRポイント>

- ① 着地型観光商品の開発・・・大津町で盛んな武道や文化、また、魅力ある自然を活かして統一感のある観光型商品の開発や運営を行う。
- ② 観光プラットフォームの整備・・・個々で活動している各種スポーツ団体や文化団体等を一元化するスポーツ文化に関する観光プラットフォームを整備し、自立を見据えた管理運営の形を作る。

<継続的な取組を確保できる体制(図)>

肥後おおづスポーツ文化コミッション



<概要> 計画期間：～令和5年3月31日

<現状・課題>

- ・大津町は、熊本市と阿蘇地域の間地点に位置し観光やスポーツ大会関係で町外からの来訪者があるが、町内での滞在時間を延ばすような着地型観光商品がなく、町内での滞在時間が短く、消費額が少ない。
- ・大津町の運動公園は、体育館のほか球技場や多目的広場などを併設し、多種多様なスポーツを楽しむことが可能な「スポーツの町・大津」を象徴する施設となっており、コンベンションや誘致活動の推進で、収益・経済効果創出面でも伸びしろがある。

<総合的な取組内容>

■ 着地型観光商品の開発

武道ツーリズム(剣道、居合)、文化ツーリズム(茶道)、アウトドアツーリズム(ウォーキング)の開発及び販売。

■ スポーツ大会等の誘致

大津町の強み(首都圏からの利便性や宿泊施設の多さ等)を地域外の企業や大学などに幅広くPRし、スポーツ大会などを誘致。



武道



アウトドア



文化



スポーツ大会

交流人口の拡大
地域経済の活性化

【フォローアップ欄】令和5年度以降における計画の進捗状況

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：教育委員会生涯学習課
- 地方スポーツ推進計画：
- 地方版総合戦略：まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年3月策定)
- 地域スポーツコミッション：肥後おおづスポーツ文化コミッション(平成31年2月設立)
- その他：

【問合せ先・電話番号】

大津町産業振興部商業観光課
096-293-3115

<目標分野> ※該当するものに全て印

- スポーツを活用した経済・社会の活性化
- スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

<目標内容>

「スポーツ」「生活」「教育」「仕事」を通して、少年期から青年期までの若者を地域企業・農家・行政など、**地域ぐるみで育てる取り組み（職育）**を行う。

<PRポイント>

- 【サッカーチームによる町の課題解決】
地域おこし協力隊制度を活用して、現役サッカー選手が地域課題解決に躍動！！
- 【アカデミー教育をまち全体でサポート】
寮生活と地域での仕事を通して、「よき社会人」の育成に寄与！！



<継続的な取組を確保できる体制（図）>



<概要> 計画期間：令和元年8月7日～令和7年3月（中間目標）

<現状・課題>

- 町内唯一の高校が廃校となり、ますます若者が流出。
- 農業・漁業・商工業などの産業分野の担い手が不足。

<総合的な取組内容>

【課題1】
町内の若者が
いない！

【課題2】
人口減少によ
り空き家増！

【課題3】
若い働き手が
不足！

課題をまとめて
スポーツ選手が解決！



地域による人材育成

- ・ツノスポーツアカデミー運営
- ・地域の事業者と連携して職業体験



移住定住促進

- ・SNSや広報誌での情報発信
- ・空き家対策、活動拠点整備



農業担い手サポート

- ・農家と働き手のマッチング
- ・農家サポート(繁忙期の支援など)

これからの都農町！

スポーツを通して
仲間と高校生
活！若者増！

移住者が増え
町内も活性化！

スポーツ選手の
セカンドキャリア
育成に！

【フォローアップ欄】令和5年度以降における計画の進捗状況

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：
都農町 教育委員会 社会教育課 保健体育係
- 地方スポーツ推進計画：なし
- 地方版総合戦略：
第2期人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略
- 地域スポーツコミッション：ツノスポーツコミッション
- 協カスポーツチーム：
ヴェロスクロノス都農（株式会社J.FC宮崎所属）

【問合せ先・電話番号】

宮崎県都農町まちづくり課まちづくり係
0983-25-5711